

ヨシナカ新聞

4月号

発行所

栃北陸ヨシナカ

東京営業所

TEL:03-3555-0796

葉牡丹(はぼたん)

三月のある日、都内の公園の花壇で、葉っぱだけの畑で見かけたら野菜と間違えてしまうようなその姿に私の目は釘づけになりました。「サラダにして食べたら美味しいよ！」と私に呼びかけてくれているような(笑)。知人に聞くと、これは『葉牡丹(はぼたん)』という品種なのだそうです。植物に疎い私ですので、皆さんは「葉牡丹も知らないんだ」と思いながらこの記事をお読みになられているとは思いますが、花が咲いていない、野菜のような『葉牡丹』に興味を沸かした私は早速調べてみました。



葉牡丹はアブラナ科アブラナ属の多年草で、鮮やかな葉を【園芸植物】として鑑賞する一方、一年草の草花としても扱われているそうです。

様にアントシアニン(色素)を持っており、一定以下の低温で晒されてから出ると葉緑素が抜け、白やクリーム色、紫、赤、桃色等に色づくのだそうです。冬花壇や正月飾りにも使用される葉牡丹。ケールやキャベツと同種なので、食べる事は可能なものの、味が落ちると、野菜への使用が禁じられている園芸用農薬が付着している可能性があるがあるので、やっぱり鑑賞のみにしていただいた方が良さそうです。

ステンレス豆知識

SUS304は電気プラグに使える?

SUS304鋼は、機械的性質やプラグ端子の腐食変色防止の点から好ましいものの、電気的性質に重大な欠陥があります。

SUS304は純銅に比べ電気伝導度が非常に劣ります。その結果、接触点でジュール熱(抵抗に電流を

流すと発生する熱)が発生しやすく、プラグの接触地点で発熱の障害に発展しやすいのです。

SUS304鋼の電機抵抗率は、純銅のほぼ100倍でステンレス鋼の主構成元素である、Fe、Cr、Niのいずれに対しても一桁程度大きいのです。

こうした特性によりステンレス

鋼を電機・電子部品として使用することは基本的に難しいと言えます。さらにステンレス鋼表面には高抵抗性の不動態被膜や酸化膜が存在するので、部品間の接触抵抗も大きくなりジュール熱が発生しがちになります。(参考資料『事例で探すステンレス鋼(工業調査会)』)

「えっ、ここでですか?」先生の言葉に思わずそう返してしまった私でした。

「まだ肺から空気を出しておられるみたいですね。お腹から空気を出さない」とフルートには腹式呼吸が大切なことはわかってはいるつもりなのですが、やっぱり出来ないみたいです。「腹式呼吸で吹けるようになる何か良い練習方法はありますか?」

「えっ、ここでですか?」先生の言葉に思わずそう返してしまった私でした。

「えっ、ここでですか?」先生の言葉に思わずそう返してしまった私でした。

K社員のフルート奮戦記

えっ、ここでですか?

間違えやすい慣用語

下の表の慣用語は全て間違っただけ所があります。皆さんわかりましたでしょうか? 私とは・・・(°□°)

① 合いの手を打つ	⑥ 上や下への大騒ぎ
② 明るみになる	⑦ 縁は奇なもの
③ 熱にうなされる	⑧ 照準を当てる
④ 後へも先へも引けぬ	⑨ 公算が強い
⑤ 苦杯にまみれる	⑩ 脚光を集める

正解と解説

①合いの手を入れる
「合いの手」は、もとは邦楽で歌と歌の間に楽器演奏や囃子言葉のこと。それらは入れるもの。

②明るみになる
この「明るみ」は単に明るいところではなく、「公」や「世間」という意味なの

で、「明るみになる」では意味が通らない。

③熱にうなされる
「悪夢にうなされる」という言葉はあっても、「熱にうなされる」という言葉はない。

④後へも先へも行かぬ
「後へ引けない」という言葉はあるが、「先へ引けない」では意味が通らない。

⑤苦杯を喫す(なめる)
「苦杯」は苦い酒を入れた杯のことなので、続く言葉は「喫す」か「なめる」。杯にまみれることはできない。

⑥上を下への大騒ぎ
【上のものを下にし、下のものを上にする】ような騒ぎという意味なので、「上や下への」では意味が成り立たない。

⑦縁は異なるもの
男女の縁はどこで結ばれるかわからない不思議なものという意味。

⑧照準を合わせる
照準は合わせるもので当てるものではない。なお、「照準を定める」という表現はOK。

⑨公算が大きい
「公算」は、ある事が起こる確率のこと。確率は数字なので「大小」か「高低」で表す。

⑩脚光を浴びる
「脚光」は俳優を足元から照らすフットライトのことなので、「浴びる」ことはできても、集めることはできない。

※参考文献：『デキる大人は使わない』ダメトーク (株)泰文堂